

## 資料2 第五次県立病院中期計画の取組状況に対する自己評価について (令和4年度上半期)

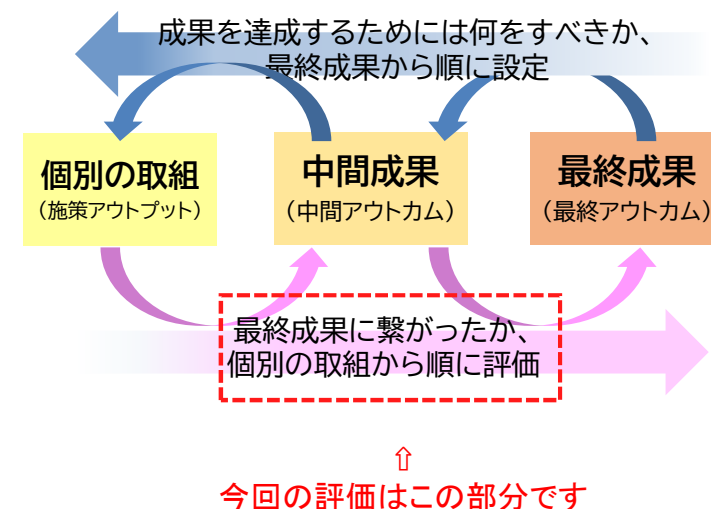
# 第五次県立病院中期計画の取組状況に対する令和4年度上半期自己評価について

## 1. 目標管理指標(ロジックモデル)について

令和4年3月策定の第五次県立病院中期計画から、「ロジックモデル」を基にした目標管理を導入しました。この手法は、「最終成果」「中間成果」「個別の取組」の3層構造で、成果を達成するために何をすべきかという観点で原因と結果の関連付けを行い、最終成果→中間成果→個別の取組の順で、目的を見失わないよう目標設定を行う手法です。

目標設定に当たっては、病院事業庁全体で目標意識を統一するため、最終成果について「医療の充実(小児Cは医療・保健・福祉の充実)」と「経営の安定化」を全所属共通目標としています。中間成果・個別の取組については、病院一丸となって最終成果を達成するために、病院毎に多くの所属に関連する目標や取組の設定としました。

この管理指標に基づき、令和4年度上半期の取組について、以下のとおり自己評価を報告します。



## 2. 自己評価の方法について

### (1) ①～④各観点での評価

それぞれの所属（県立3病院および経営管理課）において、個別の取組が中間成果・最終成果に繋がったか、ロジックモデルを用いた目標管理指標の最終成果ごとに、以下の①～④の観点から自己評価を行います。

- ①セオリー(整合性)評価 : 方向性と施策に整合性があるか
- ②プロセス(実施)評価 : 予定通りに実施できているか
- ③インパクト(効果)評価 : 施策を実行した効果が成果に出たか
- ④コストパフォーマンス評価 : 投入資源と見合う効果が得られたか

### (2) 最終成果ごとの総合的な自己評価

最終成果ごとの総合的な自己評価は、①～④各視点を踏まえた今後の方針について、「医療の充実」「経営の安定化」の2つの最終成果ごとに「強化・継続」「維持・継続」「一部中止・継続」「目標達成のため終了」の4つのうちどれに当たるかで総合評価を行います。

ただし、今回の上半期自己評価においては、上半期終了時点の数値から年間の最終数値を推測できないものも多く、総合評価が難しいため、数値および各視点での評価を報告させていただくに留め、総合的な自己評価については、年度末評価の際に行うこととします。

なお、3ページ以降に、各所属別の自己評価（①各実績値、②最終成果ごとの自己評価）を掲載しています。

番号	個別施策(施策アウトプット)
----	----------------

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
1	あらゆる疾患に対する医療機能の充実				
	指標 三大疾患(がん、心疾患、脳血管疾患)の患者数(人)	3,162	4,700	2,341	4,900
2	医療人材の確保				
	指標 総医師数(人)	100	102	102	104
	指標 総看護師数(人)	503	520	513	530
3	医療安全の徹底				
	指標 インシデント・アクシデントレポートの全件数に占める医師からの提出割合(%)	3.9	6.4	4.3	10.0

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
4	職員の意識やスキルの向上				
	指標 職員必須研修参加率(%)	99.6	100	99.9	100
5	接遇の向上				
	指標 接遇研修の実施回数(回)	1	1	1	2
6	利用者の視点に立った改善				
	指標 利用者・職員からの提案による病院機能改善件数(件)	16	10	31	10

番号	中間成果(中間アウトカム)
----	---------------

(医療)

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
1	医療の質の向上				
	指標 QI※参加項目における平均値より良好な項目の割合(%)	47.6	50.0	47.2	56

※ 病院の機能や診療、サービスなどを、様々な指標を用いて客観的な数値で示したものの(R3参加病院は346病院。全71項目中63項目に参加し、平均値より良好な項目は30項目)

(接遇)

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
2	患者対応の向上				
	指標 患者満足度の接遇に関する項目で、不満あるいはやや不満と答えた割合(%)	5.5	5.0	3.5	4.0

番号	最終成果(最終アウトカム)
----	---------------

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
1	医療の充実				
	指標 入院患者満足度(%)	88.0	88.5	91.7	89.5
	指標 外来患者満足度(%)	73.6	74.1	79.2	75.1

【中間成果1】医療の質の向上

がんをはじめとしたあらゆる疾患に対する医療機能の充実や、医師・看護師等の医療人材の確保、医療安全の徹底に取り組むことにより、医療の質の向上を図る。

【中間成果2】患者対応の向上

各種委員会による病院機能改善にかかる取組を推進し、接遇研修の開催回数、必須研修の参加率を上げていく。これらにより、接遇に関する患者満足度項目について、不満となる回答割合を抑えるよう促し、患者対応の向上を図る。

番号 個別施策(施策アウトプット)

7	適切な在院日数の設定	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	平均在院日数(日)	12.8	12.5	11.7	12.5
8	診療報酬の適正化	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	入院査定率(%)	0.527	0.5	0.4	0.5
9	DPC特定病院群(Ⅱ群)の取得	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	DPC特定病院群の「設定要件」充足項目数(3c除く8項目)	6/8	-	-	8/8

10	適切なベッドコントロール(病床管理)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	日平均入院患者数(人)	367.5	385	355	400

11	救急車の受入拡大	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	救急受入件数(件)	2,648	2,800	1,550	2,800

12	地域医療との連携による医療提供体制の構築	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	紹介率(%)	75.1	77	76.0	77
指標	逆紹介率(%)	56.4	57	68.7	57
指標	連携登録医数(人)	289	305	290	335

13	時間外勤務の縮減	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	職員一人あたり月平均時間外勤務時間数(時間)	15.5	14.4	14.8	14.1

14	品目数の削減	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	使用頻度の少ない品目の廃止件数(件)	20	20	7	20
指標	後発医薬品への切替件数(件)	9	10	3	10

15	診療材料・医薬品の価格交渉	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	価格引き下げによって低減した費用の割合(%)	-0.9	-0.4	-0.08	-0.4

番号 中間成果(中間アウトカム)

3	収益性の向上	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	入院診療単価(円)	71,839	76,280	71,760	78,750

4	効率的な病床の利用	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	病床利用率(%)	68.7	72	66.3	75

5	地域で求められる医療の提供	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	新規入院患者数(人)	9,459	10,000	4,956	10,000

6	適切な人件費比率	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	収益に対する給与費比率(%)	61.6	55.3	65.5	51.9

7	効率的な資源の配分	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	収益に対する材料費比率(%)	32.9	31.6	35.6	31.6

番号 最終成果(最終アウトカム)

2	経営の安定化	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
指標	経常収支比率(%)	102.8	102.2	101.6	102
指標	医業収支比率(%)	84.5	84.7	77.8	89.1

**【中間成果3】 収益性の向上**  
適切な在院日数となるよう退院促進を実施し、診療報酬が適正となるよう請求漏れ防止に努めるとともに、DPC特定病院群(Ⅱ群)の取得を目指し、入院診療単価を引き上げ、収益性の向上を図る。

**【中間成果4】 効率的な病床の利用**  
毎日の入院患者数を多く確保することで効率的な病床利用を促し、病床稼働率の向上を図る。

**【中間成果5】 地域で求められる医療の提供**  
救急受入れの拡大や近隣医療機関との連携強化により、地域で求められる医療提供体制を構築し、新規入院患者の獲得を図る。

**【中間成果6】 適切な人件費比率**  
時間外勤務の状況を改善することで、時間外勤務時間の削減に努め、適切な人件費比率の維持を図る。

**【中間成果7】 効率的な資源の配分**  
扱う薬品の品目数を削減、後発医薬品への切替を促し、さらに価格交渉により薬価の引き下げに努める。これらにより、材料費比率の低減を図る。

**最終成果： 医療の充実**

目標値の設定から改めて、分かりやすく誰もが関わる内容とし、取り組みば報われるよう評価の方法を考える。

- 各指標が身近な内容でないと、職員全体で取り組む風潮が生まれてこない。
- 令和5年度の中期計画改定時には、具体的で取り組みやすい目標に見直すべく検討したい。

**①セオリー(整合性)評価： 方向性と施策に整合性があるか**

- 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒ 人材の充足、接客スキル向上などソフト面の取組により、患者の不満を低く抑える効果は期待できるかもしれない一方、施設整備や高度医療機器の充実などハード面の取組に触れておらず、「医療の充実」を図る施策として効果が限定的で十分でない部分等もあるため、中期計画改定に合わせ見直しを検討したい。

**②プロセス(実施)評価： 予定通りに実施できているか**

- 計画通りに施策が実施できたか：計画通り 一部計画通り 計画通りでない

⇒ 医療安全の啓発や接客研修の実施など計画通り関係事業を行ってきたが、成果指標の目標達成に向けた更なる取組の必要な項目もある。計画は着実に実施しているが、受け手の課題もあり成果の進捗が思うように図れない。

**③インパクト(効果)評価： 施策を実行した効果が成果に出たか**

- 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし・後退
- 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒「患者対応の向上」は一定の効果が見られたが、「医療の質の向上」では、改善し達成した項目がある中で、一部未達成の項目もある。新型コロナのクラスターによる診療制限が影響した可能性もあるが、安定的な良好な数値の維持は難しい。指標ごとに担当者が常に注意を配り、こまめに注意喚起してこそその成果である。

**④コストパフォーマンス評価： 投入資源と見合う効果が得られたか**

- 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒ 人材確保は、年間を通じた募集・採用手続き、様々な広報活動や派遣事業の取り入れなど手段と費用を投じ、スキルアップは長時間研修や丁寧な受講案内など個々に手間をかけている。予算・手間をかけた分だけ成果は上がっており、職員の意識付けには、トップダウンの指示など更なる工夫が必要。

**最終成果： 経営の安定化**

単年度の収支では経営の安定とは言い難い。中長期的な取組が必要である。

**①セオリー(整合性)評価： 方向性と施策に整合性があるか**

- 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒ 毎月各指標のデータを検証し、適時コントロールを行っている。単年度収支は維持できているが、中長期的なコントロールにはなっていない。実感として捉えにくい指標は職員の反応も鈍くなる。

**②プロセス(実施)評価： 予定通りに実施できているか**

- 計画通りに施策が実施できたか：計画通り 一部計画通り 計画通りでない

⇒ 在院日数短縮、救急受入患者数の増加、紹介率向上など、各取組が徹底されつつあり、数字にも表れている一方、新型コロナの影響や、具体的取組の分かりにくさから、順調でない指標もある。各指標担当者が熱心に診療スタッフに説明し働きかけた指標は改善の傾向も見えており、特に取り組みを促したい部門(職員)に、個別の資料により指標の向上への協力をお願いしてきた。

**③インパクト(効果)評価： 施策を実行した効果が成果に出たか**

- 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし・後退
- 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- 個別施策の実施以外の要因の影響はあったか：多いにあり 一部あり 影響なし

⇒ 新型コロナのクラスターが何度も発生し、入院や救急受入れを制限せざるを得なくなった。在院日数の短縮や紹介率向上、入院査定率の低減などは、個別の説明や働きかけにより一定の効果を上げた。診療にあたる医療スタッフに、事務局がどれだけ具体的に働きかけできるかが重要。また医療スタッフが各指標の改善を自分事として前向きに取り組むよう、モチベーション向上の働きかけも必要。

**④コストパフォーマンス評価： 投入資源と見合う効果が得られたか**

- 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒ 改善に向け、事務局にて膨大な労力が費やされている。地道なデータ分析や資料作成、個別の説明が行われている。労力を費やした分、効果は表れている。作業量が多いので、事務局スタッフの充実も必要である。病院全体に取り組む姿勢ができると、あとは小さな労力で改善ができる。

### 番号 個別施策(施策アウトプット)

番号	個別施策(施策アウトプット)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
1	適切な在院日数の設定				
	指標 平均在院日数(日)	10.5	9.6	10.6	9.6
2	医療安全の徹底				
	指標 アクシデント件数(レベル3b以上)(件)	0	0	0	0
3	医療知識の向上				
	指標 医療安全、院内感染防止研修会の受講率(%)	92.5	92.5	100.0	93.0
4	地域関係団体との連携強化				
	指標 地域推進会議の開催(回)	4	6	3	6
5	医療人材の養成				
	指標 専門研修派遣者数(人)	126	121	64	133
6	政策医療の提供				
	指標 精密健康診断結果の要医療率(%)	43.3	35.8	47.5	36.4
7	地域療育支援				
	指標 療育研修会等の実施(回)	7	7	5	7
8	保護者支援				
	指標 保護者研修会等の実施(回)	15	15	8	15

番号	個別施策(施策アウトプット)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
9	外来の待ち時間短縮				
	指標 診療までの待ち時間を負担に感じる患者の割合(%)	24.3	24.1	(未実施)	23.7
10	療育部でのイベント等の実施				
	指標 イベント等の実施回数(回)	7	7	3	8
11	職員の改善等に係る意識の向上				
	指標 改善や工夫を意識して仕事に取り組んでいる職員の割合(%)	81.9	82.7	(未実施)	84.3
12	やりがいを持って働ける職場づくり				
	指標 現在の仕事に充実感や達成感を感じている職員の割合(%)	82.3	87.1	(未実施)	88.9

### 番号 中間成果(中間アウトカム)

(医療)

番号	中間成果(中間アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
1	医療、保健、福祉の質の向上				
	指標 入院患者満足度(医療)(%)	100.0	100.0	(未実施)	100.0
	指標 外来患者満足度(医療)(%)	99.4	99.6	(未実施)	100.0
	指標 通園者満足度(福祉)(%)	88.5	90.0	(未実施)	90.0

(接遇)

番号	中間成果(中間アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
2	患者・通園者対応の向上				
	指標 入院患者満足度(接遇)(%)	100.0	100.0	(未実施)	100.0
	指標 外来患者満足度(接遇)(%)	97.8	98.0	(未実施)	98.4
	指標 通園者満足度(接遇)(%)	-	90.0	(未実施)	90.0

### 番号 最終成果(最終アウトカム)

番号	最終成果(最終アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
1	医療、保健、福祉の充実				
	指標 入院患者満足度(%)	100.0	92.0	(未実施)	94.0
	指標 外来患者満足度(%)	89.8	91.0	(未実施)	93.0
	指標 通園者満足度(%)	100.0	100.0	(未実施)	100.0

#### 【中間成果1】 医療・保健・福祉の質の向上

専門研修への派遣による医療人材の養成や医療安全、院内感染防止研修を行うことにより、医療の質の向上を図る。また、政策医療の提供や療育にかかる保護者研修会等を実施することにより、保健、福祉の質の向上を図る。

#### 【中間成果2】 患者・通園者対応の向上

外来の待ち時間短縮や院内(療育部内)での各行事・イベントを実施することで患者・通園者の満足度向上を図る。また、職員にとってやりがいのある職場づくりを行うことで職員の満足度を向上し、これらにより患者・通園者対応の向上を図る。

番号 個別施策(施策アウトプット)

番号	個別施策(施策アウトプット)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
13	地域医療機関との連携強化				
	指標 紹介率(%)	52.1	52.8	49.6	53.4
	指標 逆紹介率(%)	57.5	55.7	47.8	56.3
14	服薬患者への支援				
	指標 服薬指導件数(退院指導含)(件)	212	220	122	260
15	療養生活への継続支援				
	指標 栄養指導継続率(%)	29.2	34.0	45.8	38.0
16	医療機器の有効利用(検査)				
	指標 長期脳波ビデオ同時記録検査(テレメータ脳波)(件)	106	116	48	122
17	医療機器の有効利用(放射線)				
	指標 放射線撮影件数(件)	12,479	12,700	6,536	12,900

番号	個別施策(施策アウトプット)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
18	時間外勤務の削減				
	指標 職員一人あたり月平均時間外勤務時間数(時間)	17.7	18.3	19.3	17.9

番号	個別施策(施策アウトプット)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
19	適切な薬品費比率				
	指標 収益に対する薬品費比率(%)	14.2	15.8	17.2	15.8

番号	個別施策(施策アウトプット)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
20	適切な診療材料費比率				
	指標 収益に対する診療材料費比率(%)	9.9	6.8	11.3	6.9

番号 中間成果(中間アウトカム)

番号	中間成果(中間アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
3	医業収益の増加				
	指標 医業収益(百万円)	2,028	2,343	744	2,741
4	病床利用率の向上				
	指標 病床利用率(%)	47.0	56.8	43.6	70.0
5	新規外来患者の獲得				
	指標 新規外来患者数(人)	3,045	3,055	1,730	3,241

番号	中間成果(中間アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
6	適切な人件費比率				
	指標 収益に対する給与費比率(%)	80.3	78.4	76.7	65.7

番号	中間成果(中間アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
7	適切な材料費比率				
	指標 収益に対する材料費比率(%)	24.7	23.2	29.0	23.3

※項目番号3、6、7の実績値については、令和4年8月現在

番号 最終成果(最終アウトカム)

番号	最終成果(最終アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R6)
2	経営の安定化				
	指標 経常収支比率(%)	103.1	111.5	122.7	106.5
	指標 医業収支比率(%)	67.0	72.2	78.1	83.5

※項目番号2の実績値については、令和4年8月現在

【中間成果3~5】 医業収益の増加、病床利用率の向上、新規外来患者の獲得

リハビリ入院や総合検査入院等の促進、地域医療機関との連携により、病床利用率の向上や新規外来患者の増加につなげる。また、医療機器の有効利用や、服薬・栄養指導を行い、医業収益の増加を図る。

【中間成果6】 適切な人件費比率

業務の効率化等を行うことで、一人当たりの時間外勤務時間数を縮減し、適切な給与比率の維持を図る。

【中間成果7】 適切な材料費比率

取り扱う薬品数や診療材料費の見直し、納入業者との価格交渉により適切な材料費比率の維持を図る。

## 最終成果：医療・保健・福祉の充実

最終成果に繋がる個別施策・中間成果を注視し、引き続き目標の達成に取り組む。

### ①セオリー(整合性)評価：方向性と施策に整合性があるか

- ✓ 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒最終成果と中間施策・個別目標のつながりおよび各分野の設定については、理にかなっており適切である。

### ②プロセス(実施)評価：予定通りに実施できているか

- ✓ 計画通りに施策が実施できたか：計画通り 一部計画通り 計画通りでない

⇒各種施策は、予定通り実行されている。

### ③インパクト(効果)評価：施策を実行した効果が成果に出たか

- ✓ 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし
- ✓ 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- ✓ 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒施策を実施してからまだ6ヶ月であるので、中間・最終成果の指標への改善については、変化はない。効果の検証については、継続して行っていく。

### ④コストパフォーマンス評価：投入資源と見合う効果が得られたか

- ✓ 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒予定していた予算の範囲内で、計画的に事業が実施できている。投入資源と効果の検証は、引き続き行っていく。

## 最終成果：経営の安定化

最終成果に繋がる個別施策・中間成果を注視し、引き続き目標の達成に取り組む。また、新型コロナウイルス感染症患者の増加による病床利用率への影響については、引き続きその対策を検討する。

### ①セオリー(整合性)評価：方向性と施策に整合性があるか

- ✓ 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒最終成果と中間施策・個別目標のつながりおよび各分野の設定については、理にかなっており適切である。

### ②プロセス(実施)評価：予定通りに実施できているか

- ✓ 計画通りに施策が実施できたか：計画通り 一部計画通り 計画通りでない

⇒各種施策は、予定通り実行されている。

### ③インパクト(効果)評価：施策を実行した効果が成果に出たか

- ✓ 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし
- ✓ 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- ✓ 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒施策を実施してからまだ6ヶ月であるので、中間・最終成果の指標への改善については、変化はない。効果の検証については、継続して行っていく。  
なお、新型コロナ第7波の影響により、一部入院制限を行わざるを得なかったため、病床利用率が低位となった。年度後半は、リハビリ入院、総合検査入院等の推進を図り、病床利用率の向上に努める。

### ④コストパフォーマンス評価：投入資源と見合う効果が得られたか

- ✓ 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒予定していた予算の範囲内で、計画的に事業が実施できている。投入資源と効果の検証は、引き続き行っていく。



番号	個別施策(施策アウトプット)			
----	----------------	--	--	--

	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)	
1	依存症患者への対応充実				
	指標 アルコール関連延べ患者数(外来)(人)	3,012	3,030	1,498	3,150
2	指標 アルコール依存症等の解毒目的入院患者の病棟教育の実施、外来プログラム、ARP、自助会への移行率(%)	33.3	40.0	44.0	60.0
	思春期患者への対応充実				
2	指標 思春期延べ患者数(外来)(人)	2,609	2,500	1,340	2,530
	指標 発達障害専門デイケア在籍者数(人)	2	13	10	17
3	診療局各部門の充実				
	指標 検査件数(件)	111,373	112,000	55,990	112,000
	指標 薬剤管理指導件数(件)	218	200	126	210
4	指標 給食満足度(%)	92	84	-	85
	医療安全の徹底				
4	指標 アクシデント件数(レベル3b以上)(件)	1	2	0	1
5	人材確保・育成				
	指標 常勤医師数(人)	10	9	9	11
6	指標 全職員向け研修開催件数(件)	13	15	7	15
	情報提供・情報発信				
6	指標 ホームページアクセス数(件)	159,837	160,500	94,041	162,000

	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)	
7	地域連携の推進				
	指標 保健所に対する医師の技術協力(回)	27	24	14	36
8	指標 専門・認定看護師等の院外活動件数(回)	23	23	14	30
	チーム医療の向上				
8	指標 地域カンファレンス実施件数(件)(うち患者参加件数)	396(284)	400(280)	162(130)	400(280)
9	社会復帰支援				
	指標 社会復帰に向けたプログラムの延べ参加者数(人)	5,597	5,500	2,422	5,500

番号	中間成果(中間アウトカム)			
----	---------------	--	--	--

(医療)

	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)	
1	政策医療の充実				
	指標 ARP※1入院者数(人)	36	40	21	50
	指標 SMARPP※2参加延べ人数(人)	166	160	76	470
	指標 STEP-G※3参加延べ人数(人)	33	40	43	55
	指標 思春期外来の学校・相談機関との連携割合(%)	-	50	42	50
	指標 デイケア(一般・発達)移行支援数(人)	11	12	15	20

- ※1 アルコール依存症リハビリテーションプログラム
- ※2 アルコール・薬物依存症の外来集団治療プログラム
- ※3 ギャンブル依存症の外来集団治療プログラム

	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)	
2	地域生活移行の促進・定着				
	指標 平均在院日数(1・2病棟)(日)	72.0	80.5	65.6	84.0
	指標 退院後1年以内の地域での平均生活日数(1・2病床)(日)	-	316	-	316
指標 退院者数(3病棟)(人)	4	5	2	7	

番号	最終成果(最終アウトカム)			
----	---------------	--	--	--

	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)	
1	医療の充実				
	指標 入院患者満足度(1・2病棟)(%)	69.6	69.5	-	71.0
	指標 入院患者満足度(3病棟)(%)	70.9	72.5	-	74.0
	指標 外来患者満足度(%)	77.8	77.0	-	78.5
指標 入院患者満足度(3病棟)(%)	79.4	85.5	-	86.5	

**【中間成果1】 政策医療の充実**

依存症・思春期等の政策医療や高度・専門医療の推進・充実に加え、人材確保・育成や医療安全の徹底に取り組み、これらにより医療の質の向上を目指す。また、ホームページ等による積極的な情報提供・情報発信を行う。

**【中間成果2】 地域生活移行の促進・定着**

地域医療機関や保健所、福祉施設などの関係機関との連携を図るとともに、退院促進等に向けたカンファレンスやプログラムの充実に取り組み、地域生活移行の促進・定着を目指す。

番号 個別施策(施策アウトプット)

番号	個別施策(施策アウトプット)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
10	緊急・救急患者の受入				
	指標 救急・緊急診療の受入件数(件)	105	100	41	100
11	地域医療機関との連携強化				
	指標 紹介数(件)	350	360	164	360
	指標 逆紹介数(件)	392	400	207	400
	指標 新規入院患者数(1・2病棟)(人)	323	340	171	350
12	医療機器の有効な活用				
	指標 X線検査件数(件) (うち他施設からの依頼)	663 (24)	650 (18)	261 (15)	680 (18)
	指標 CT検査件数(件) (うち他施設からの依頼)	358 (10)	340 (10)	299 (11)	400 (10)
	指標 MR検査件数(件) (うち他施設からの依頼)	585 (129)	590 (120)	265 (58)	650 (120)
13	特別食加算割合の増加				
	指標 特別食加算割合(%)	16.7	16.5	17.1	18.0

番号	個別施策(施策アウトプット)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
14	時間外勤務の縮減				
	指標 職員一人あたり月平均 時間外勤務時間数(時間)	8.4	8.7	6.6	8.6
15	医薬品購入額の削減				
	指標 外来院外処方箋発行比率(%)	81.6	79.0	81.4	80.0

番号 中間成果(中間アウトカム)

(医療)

番号	中間成果(中間アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
3	病床利用率の向上				
	指標 病床利用率(1・2病棟)(%)	62.9	75.0	60.5	81.0
	指標 病床利用率(3病棟)(%)	89.0	95.7	99.1	95.7

(接遇)

番号	中間成果(中間アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
4	適切な人件費比率、 効率的な資源の配分				
	指標 医業収益に対する 職員給与費の割合(%)	112.9	103.7	113.8	98.3
	指標 医業収益に対する 材料費比率(%)	8.1	8.6	8.1	8.5
	指標 医業収益に対する 経費比率(%)	25.4	29.8	28.5	27.3

番号 最終成果(最終アウトカム)

番号	最終成果(最終アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
2	経営の安定化				
	指標 経常収支比率(%)	98.9	99.4	96.3	95.5
	指標 医業収支比率(%)	62.0	64.5	60.7	63.5

**【中間成果3】 病床利用率の向上**

救急・緊急患者や新規入院患者の円滑な受け入れのため、適切なベッドコントロールを行い、病床利用率の向上を図る。また、医療機器の有効活用により検査件数を増やし、収益の向上を図る。

**【中間成果4】  
適切な人件費比率、効率的な資源の配分**

時間外勤務の縮減や、薬品等の購入費の削減等に取り組み、人件費、材料費、経費等の費用の抑制を図る。

## 最終成果：医療の充実

最終成果の達成に向けて、引き続き事業を実施していく。

### ①セオリー(整合性)評価：方向性と施策に整合性があるか

- ✓ 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒取組の方向性と施策のつながりは妥当であり、効果が期待できるものである。  
検査件数は医師のオーダーにより検査を行っており、医師数の影響が大きい。

### ②プロセス(実施)評価：予定通りに実施できているか

- ✓ 計画通りに施策が実施できたか：計画通り 一部計画通り 計画通りでない

⇒R4年度は、新型コロナの影響により、一部、地域カンファレンス実施件数等で目標値を下回っているが、概ね順調に推移している。

### ③インパクト(効果)評価：施策を実行した効果が成果に出たか

- ✓ 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし
- ✓ 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- ✓ 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒目標値の半数を達成するなど、各施策は計画通り実行され、概ね施策の効果が  
出ていると考えられる。なお、患者満足調査は9月末時点で未実施であり、最終  
成果は評価できない。

### ④コストパフォーマンス評価：投入資源と見合う効果が得られたか

- ✓ 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒予算の範囲内で計画的に事業を実施しており、概ね順調に成果も出ており、  
妥当である。

## 最終成果：経営の安定化

最終成果の達成に向けて、引き続き事業を実施していく。

### ①セオリー(整合性)評価：方向性と施策に整合性があるか

- ✓ 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒取組の方向性と施策のつながりは妥当であり、効果が期待できるものである。  
医療機器の有効活用(X線検査件数等)は医師のオーダーにより検査を行って  
おり、医師数の影響が大きい。

### ②プロセス(実施)評価：予定通りに実施できているか

- ✓ 計画通りに施策が実施できたか：計画通り 一部計画通り 計画通りでない

⇒目標値の半数を達成するなど、各施策は概ね計画通り実行されている。時間外  
勤務の削減、材料費比率の削減など、職員ができることでは、目標値を達成し  
ている。

### ③インパクト(効果)評価：施策を実行した効果が成果に出たか

- ✓ 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし
- ✓ 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- ✓ 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒R4年度は、新型コロナの影響により、病床利用率等、最終成果の経常収支比率、  
医業収支比率で目標値を下回っているが、概ね順調に推移している。

### ④コストパフォーマンス評価：投入資源と見合う効果が得られたか

- ✓ 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒目標値の半数を達成するなど、各施策は計画通り実行されており、最終成果の  
経常収支比率、医業収支比率で目標値を下回っているが、概ね施策の効果が  
出ていると考えられる。

番号 個別施策(施策アウトプット)

番号 中間成果(中間アウトカム)

番号 最終成果(最終アウトカム)

医療人材の確保		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
1	指標 病院説明会への参加者数(人)	84	90	124	100
	指標 実習受け入れ人数(人)	631	635	691	650
	指標 採用試験受験倍率(倍)	2.2	2.4	2.1	3.0

(医療)

医療人材の確保		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
1	指標 医師確保率(%)	88.7	90.0	88.1	95.0
	指標 看護師確保率(%)	99.0	100.0	97.9	100.0
	指標 医療技術職確保率(%)	95.3	96.0	93.2	100.0

医療の充実		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
1	指標 総合病院 入院患者満足度(%)	88.0	88.5	91.7	/
	指標 小児保健医療センター 入院患者満足度(%)	100.0	92.0	(未実施)	/
	指標 精神医療センター 入院患者満足度 (1・2病棟)(%)	69.6	69.5	(未実施)	71.0

職場環境の向上		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
2	指標 看護師離職率(%)	6.2	6.2	1.2	6.0
	指標 年休取得日数(日)	13.2	14.0	9.4	14.0
	指標 男性育休取得率(%)	26.3	20.0	25.0	20.0
	指標 「職場は、ハラスメントを 許さない雰囲気がある」と 感じている職員の比率(%)	58.9	65.0	(未実施)	80.0
	指標 「ワーク・ライフ・バランスが とれている」と 感じている職員の比率(%)	59.4	80.0	(未実施)	80.0
	指標 障害者雇用率(%)	2.70	2.72	2.95	2.80

(接遇)

働きやすく魅力ある職場づくり		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
2	指標 「今後もこの病院で 働きたい」と感じている 職員の比率(%)	71.0	74.0	(未実施)	80.0
	指標 「日々の仕事を通して成長 している」と実感している 職員の比率(%)	71.9	70.0	(未実施)	80.0

職員の意識やスキルの向上		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
3	指標 看護師キャリアラダー研修 の実施回数(回)	17	17	14	19
	指標 上記以外の病院事業庁 実施研修の実施回数(回)	10	11	6	13
	指標 「職場は、教育や人材育成に 力をいれている」と 感じている職員の比率(%)	65.9	68.0	(未実施)	75.0
	指標 「職場は、病院または職場の 目標実現に向けて、具体的な 取組を進めている」と 感じている職員の比率(%)	65.7	69.8	(未実施)	75.0

**【中間成果1】 医療人材の確保**

病院説明会や実習受け入れ等、医療人材確保に向けた取組を推進し、採用試験の受験者数の増加等により医療人材の充実を目指す。

**【中間成果2】 働きやすく魅力ある職場づくり**

年休取得率やワーク・ライフ・バランスの推進による職場環境の向上や、研修等により意識・スキルの向上に取り組み、働きやすく魅力ある職場づくりを推進する。

番号 個別施策(施策アウトプット)

番号	個別施策(施策アウトプット)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
4	計画的な歳入確保 指 未利用地売却、統合に係る交付金、 標 有利な起債の活用等、新たな取組による歳入確保の額(億円)	0	0	0	2.3

5	時間外勤務の縮減 指 職員一人あたり月平均 標 時間外勤務時間数(時間)	15.7	15.1	15.1	14.5
6	統合時の費用削減効果の最大化 指 統合に係る削減費用の額(億円)	0	0	0	1.0
7	診療材料・医薬品の価格交渉 指 医薬品値引率の 標 全国平均値との差(%)	-1.13	0.1	-0.6	0.1

番号 中間成果(中間アウトカム)

(医療)

番号	中間成果(中間アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
3	収入の確保 指 医業収益(百万円)	18,290	19,817	8,863	21,706
	指 医業外収益(百万円)	6,451	6,209	3,552	4,787

(接遇)

番号	中間成果(中間アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
4	費用の適正化 指 収益に対する給与費比率(%)	64.78	61.9	67.1	56.6
	指 収益に対する材料費比率(%)	28.55	29.14	30.5	29.0

番号 最終成果(最終アウトカム)

番号	最終成果(最終アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4上半期)	目標値 (R7)
2	医療の充実 指 経常収支比率(%)	102.5	103.3	104.1	101.9
	指 医業収支比率(%)	80.6	81.1	76.3	86.0

【中間成果3】 収入の確保

未利用地の売却や統合による交付金、有利な起債の活用等の新たな取組によって計画的に歳入確保を行うことにより、収入の確保を目指す。

【中間成果4】 費用の適正化

時間外勤務の改善や診療材料・医薬品の価格交渉により、費用の適正化を図る。また、統合時の費用削減効果が最大となるよう、システムの一元化や事務部門の縮小等の取組を行う。

## 最終成果：医療の充実

最終成果達成に向け、引き続き事業を実施していくとともに、今後より効率的な事業実施も意識して進める必要がある。

### ①セオリー(整合性)評価：方向性と施策に整合性があるか

- ✓ 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒取組の方向性と施策の繋がりは妥当であり、効果が期待できるものである。

### ②プロセス(実施)評価：予定通りに実施できているか

- ✓ 計画通りに施策が実施できたか：計画通り 一部計画通り 計画通りでない

⇒施策は、概ね計画通りに実施できている。看護師キャリアラダー以外の研修については、労務管理研修を既存の研修に組込んで実施したこと等により、実施回数が減少した。

### ③インパクト(効果)評価：施策を実行した効果が成果に出たか

- ✓ 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし・後退
- ✓ 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- ✓ 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒説明会参加者・実習受入れ人数は計画策定時から増加した。男性育休取得率も目標値を上回り、一定効果があると考えられる一方、採用試験受験倍率は目標を下回った。今後、出願者の少ない職種に係る募集活動の拡充など、効果的な施策の検討が必要。(効果は、翌年度以降に現れるものとする。)  
 年休取得日数は今年度の達成は難しく、休暇取得促進の取組が求められる。障害者雇用率が次年度以降段階的に引き上げ予定だが、令和7年目標値は改正後の雇用率と合致しており、特段の見直し等は不要。  
 患者満足調査は9月末時点未実施の所属もあり、最終成果は評価できない。  
 なお現在、医療技術職員の研修体系を構築し、計画的な研修実施を検討しており、今後目標を達成できるよう研修計画を作成していく。

### ④コストパフォーマンス評価：投入資源と見合う効果が得られたか

- ✓ 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒予定していた予算の範囲内で事業実施できている。効果的な事業の実施は当然であるが、今後より効率的な事業実施も意識して進めていく必要がある。

## 最終成果：経営の安定化

最終成果達成に向け、引き続き事業を実施していく。

### ①セオリー(整合性)評価：方向性と施策に整合性があるか

- ✓ 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒取組の方向性と施策の繋がりは妥当であり、効果が期待できるものである。

### ②プロセス(実施)評価：予定通りに実施できているか

- ✓ 計画通りに施策が実施できたか：計画通り 一部計画通り 計画通りでない

⇒診療材料・医薬品の価格交渉については、予定通り、8月上旬より病院と業者間で価格交渉を行い、計3回の見積徴取を重ね、計画通り事業を実施できている。未利用地売却については、関係機関との協議の中で、実施時期の見直しが必要となったが、概ね計画通り実施されている。

### ③インパクト(効果)評価：施策を実行した効果が成果に出たか

- ✓ 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし・後退
- ✓ 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- ✓ 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒価格交渉の結果、概算で約470万円の値引となった。目標未達ではあるものの、医薬品値引率の全国平均値との差は-1.13%から-0.6%に縮小し、+0.53%改善した。年間計1000万円の削減を目指し、下半期においても引き続き業者と価格交渉を行う。未利用地売却は関係機関との調整段階であり、次年度以降、必要な対応を進める。

### ④コストパフォーマンス評価：投入資源と見合う効果が得られたか

- ✓ 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒効果の発現が後年度となる項目もあるが、計画的に事業を実施しており、概ね順調に効果も出ている。投入資源と効果の検証を、今後も引き続き行っていく。